

中学校第1学年 国語科学習指導案

学習指導者 東かがわ市立大川中学校 多田 宏美

1 単元名 「筆者の主張を要約して担任の先生に伝えよう —『不便』の価値を見つめ直す—」

2 単元計画（総時数 6時間 【本時 4/6】）

- (1) 全文を通読し、筆者が「不便のよい面」としてどんな事例を基に、どのような点を挙げているか捉える。（2時間）
- (2) 既習事項（要約の仕方）を振り返り、小学校時に学習した説明文の要約をする。（1時間）
- (3) 目的を明確にした上で要約し、筆者の主張を検討する。（2時間）
- (4) 筆者の主張に対する自分の意見を班で共有する。（1時間）

3 授業の見どころ

筆者の主張を、生徒それぞれが課題意識をもちらながら自力で要約することに重点を置く。本文を読んだことのない人に筆者の主張を伝えるという目的を明確に意識させた上で、タブレット端末内にある自分の課題解決に役立つヒントカードを選択させる。

4 本時の学習指導

(1) 目標

それぞれが課題意識をもち、本文を読んだことのない人（学級担任）に筆者の主張を知ってもらうことを目的とした要約ができる。

(2) 学習指導過程

学習活動と生徒の意識	教師の指導
1 学習課題を確認する。	○本文を読んだことのない人に筆者の主張を伝えるという目的を明確に意識させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">重要な部分を的確に捉え、要約しよう。</div>
2 学習課題について考える。 (1) 個人で考える。 <div style="border-top: 1px dashed black; padding: 5px; background-color: #f0f0f0;">授業づくりのポイント (2) ヒントカードを選択し、要約する。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">段落構成書き始めキーワード</div><p>※ヒントカードを使わなくてもよい。</p></div> (3) 同じヒントカードを使った人同士で共有し、必要な情報が抜けていないかを確認する。	○要約の仕方を再度確認する。 ○ヒントカードについて説明し、その意義や特徴を理解した上で、自分の課題解決に役立つものを選択させる。 ○書き進められない生徒には、前時のワークシートや3枚のヒントカードの全てを参考にしながらまとめていくように助言する。 ○共有する目的（必要な情報の確認）を示す。ワークシートだけではなく、教科書も持参させる。本文中のどの箇所を参考に要約をしたかを共有させる。
3 学習のまとめをする。 ・必要な情報を選び、目的を意識した要約ができているか確認する。（途中でもよい。）	○目的に応じて必要な情報に着目し、要約しているかを評価する。（ワークシート）
4 本時の学びについて振り返る。	○自分の要約が目的に即したものになっているかどうか振り返るようにする。